

Readers' Voice

このコーナーでは
前号のアンケートや
投書箱に寄せられた声を紹介していきます



RJ第63号(2011年11月発行)アンケート結果

Q1 特濃! 廃道あるき 第三四回

上高地乗鞍スーパー林道 [C区間] (前編)

附 森林開発公団概説 (by ヨッキレン)

5 おもしろかった・役に立った	7
4 ↑	3
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.7

受付です。今号は記念すべきキリのいい数字ですね! 何かをして祝ってあげたい気分です。なので、歌をプレゼントします! ああ~廃道の夜は更けて~ (プチッ

大変お聞き苦しいところがありました。お詫びいたしまして、代わってnagajisが普通に進行します。夏真っ盛りのうだるような暑さの中、第64号のリーダーズボイス、始まるよ~。(な)

アンケートは15日PM3:00時点の結果です。

みなさんのコメント

後半が待ちきれないです。

[編] ありがとうございます。そして、ゴメンナサイ。9月号には後編を掲載します。

森林開発公団の話等も交えながら林道を進んでいくわくわく感が楽しかったです。あと、上越JCTは長野道ではなく上信越道(or北陸道)だと思います。

[編] 楽しんでいただけたようで、何よりです。ご指摘の箇所は、仰るとおりですね。うっかりしていました。(ヨ)

[編] いっけね! 忘れてる! 慌てて修正するよ! (な)

なまごろし~(´・`)

[編] スマヌ~ (ヨ)

ああ、生殺し。続編が早く見たいです

乗鞍スカイラインマイカー規制前のころ、二泊三日ぐらいの行程でバイクでツーリングしてたときよく遊んでた林道なので悲しい結果が待ってそうですが・・・

[編] 生殺しスマヌー… もう1ヶ月待って！ (ヨ)

山いが掲示板に「飛騨は遠い」で書いた者です。

Yahoo!地図などで見るとC区間は特に通行止め表示も無く当初はここを迂回すればいいやと安易に考えていましたが実際は廃道だったんですね。

昔はこのあたりもいろんな迂回路があったものですが・・・

今回のような通行止めの場合、乗鞍スカイラインを限定的に開放してくれれば非常に助かるんですけどね。

[編] 本編執筆のきっかけともなった書き込みをして下さり、ありがとうございました。

>乗鞍スカイラインを限定的に開放

これは本当にそう思います。せっかく巨費を投じて作った道路なので、臨機応変な対応があると、もっといいなと思いますね。(ヨ)

Q2 猪苗代湖一周観光湖岸道路 後編 (by TUKA)

5 おもしろかった・役に立った	5
4 ↑	1
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.9

みなさんのコメント

そこに道の部分がある。が、なんだかよくわからないという途中結果でのまとめになってしまいましたが、何層もの道が重なっているようで、楽しい道であることはわかりました。あんがい会津若松側の資料が参考になるかもしれませんね。

[編] 不明点が多いままの発表となりましたが、公開することで何かしら新たな情報が集まるのではないかと、という期待も込めてます (つ)

[編] 郡山の中央図書館、来年の3月までお休みなんですって。関係者のみなさん頑張ってー。(受)

Q3 大坂・嘉永・津波の碑 (by nagajis)

5 おもしろかった・役に立った	5
4 ↑	1
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.9

みなさんのコメント

津波といっしょくたにされていますが、当時も埋め立て地などで液状化現象がおこっていたのですね。

[編] 当時の人は「液状化現象」なんてことが起こるなんて思ってもいなかったでしょうね。まさに驚天動地の騒ぎだったろうと想像します。(な)

大阪ですら、かつて大津波の被害があったことと、その大きさに驚きました。かつての記録を最大限に生かして、死者や行方不明者を減らして行ってほしいものです。とくに、迅速に避難できるルートの確保が大切だと思いました。

[編] 阪神大震災の時も思いましたが、道路や電気といったインフラが壊滅状態になることなど中々想像しにくいものです。そしてひとたび起こってしまえば大パニックになります。普段から「その時どうするか」を考えておくことが肝要です。(な)

Q4 請取峠 (起・承前) (by nagajis)

5 おもしろかった・役に立った	6
4 ↑	0
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	5

みなさんのコメント

さあ、これからというところでさりげなく<続く>になっていて、ちょっとショックを受けました。

[編] あんまり長くなり過ぎたことと、請取峠をネットで紹介することの承諾を得るのが間に合わなかったため、やむなくあそこで区切りました。ご了承ください。そのぶん今回は請取峠に絞ってますのでスッキリするかと。(な)

[編] 余計な独白が長々と入ってますけどね〜 (受)

読ませますなあ。先が楽しみです。「美杉 松阪」の青看板は集落内の旧道から国道369号への誘導なんですかね。峠の方を向いてますが...

[編] P55 (統合版P57) の写真にある青看板ですね。そのとおり、西杉峠方面の道 (県道38号) にとっての案内看板です。集落側から見るとこうなります。(な)

[編] ちなみに2002年はこうなっていました。

Q5 解題 安治川河底隧道工事資料 補遺 (by nagajis)

5 おもしろかった・役に立った	5
4 ↑	0
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	5

みなさんのコメント

まわりの建物との落差がすごく、完成時には超近代的な建造物だったことがよくわかる資料でした。

P72 建屋の全面 前面

P75 建屋の概観 外観
でしょうか。

[編] おーいえー。失礼しました。該当箇所を修正してupしています。ご利用くださいませ。(な)

Q6 Readers' Voice

5 おもしろかった・役に立った	2
4 ↑	0
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	5

みなさんのコメント

ついいつも一気に読みしてしまうため、第2部への熟読感が物足りないという個人的問題を抱えてました。内容が濃いために2部がおざなりに読んでしまうんですね。解決策として今回第2部から読み始めています。いいかも。Nakajis記事は思いがけないところに笑いどころが潜んでいるのでじっくり、じっくり資料の中身も読みながらでないとなかなか本来の楽しみ方が出来ないな、と感じ入りました。単純な資料だけでなく、これからも「笑い」と「涙」と「汗」の「日本の廃道」を続けてくださいませ！

[編] 第二部の後半はおまけですよ。読まないとな世の中に置いて行かれるわけでもなし、罰が当たるわけでもなし、気が向いた時に読んで下さい。(な)

Q7 総合評価

5 おもしろかった・役に立った	4
4 ↑	0
3 ふつう	0
2 ↓	1
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.4

みなさんのコメント

ORJの6年、自分の6年。いろいろありましたがずっと読ませていただきました。編集部の皆様本当に有難うございます。今後もずっと楽しみにしています。

[編] よろしくね～！（受・ジスオ・王様）

Q8 今号で印象に残った記事を教えてください（いくつでも選択可）。

特濃！廃道あるき	2
猪苗代湖一周観光湖岸道路 後編	1
大坂・嘉永・津波の碑	3
請取峠（起・承前）	4
解題 安治川河底隧道工事資料 補遺	0
Readers' Voice	0
REAR TYRE	0
その他	0

Q9 ご意見承ります。

みなさんのコメント

毎号楽しみに拝見しています。

"山いが"も当然拝見していますが、なんというか、最近ヨッキ氏のパワーが少々落ち気味のような気がするのです。自分自身がORJの記事に慣れてしまったせいかとも思ったのですが、やはり最初の頃に感じたドキドキ感が余り感じられないのです。

お忙しいことは大変喜ばしいことですし、生活の糧も必要ですからどんどん多方面で活躍していただきたいので、"山いが"の更新が滞るのは仕方ありません。でも、ORJは有料誌ですので、もっと号を重ねるごとにパワーアップして欲しいのです。

今号のスーパー林道も、ORJであれば完結して欲しかったな、と思います。

ちょっと辛口でしたか？

ちなみに、お住まいが近いようなので、町でお見かけしたら手を振ります。

残念ながら、当方はおじさんです。

[編] ヨッキれんです。ご意見ありがとうございます。

毎月「ORJ」に何を書くかということについては、大勢の人に読んで貰いたい気持ち（無料ならば大勢の人に読んでもらえる）と、有料の読者さんに対する優遇ということのバランスをどうするかで、いつも悩む部分です。ですがここではそういうことではなく、私自身の衰えということについてのご指摘と判断し、以下のようなお答えを用意させていただきました。

私自身沢山の廃道を経験したことで、単純に、驚いたり興奮したり恐怖を感じたりする敷居が、昔よりも高くなってしまっていることは否めません。なので、以前ならば「キター！」「スゲー！」「コエー！」ってなっていたところが、やや坦々とした現状分析になっていることが多いなと言うのは、自分も感じる所です。

でも、一つ確実に言えることがあります。

そんなスれてしまった私が心底から興奮し、熱中し、或いは恐怖するような物件に出会うことが出来たときには、きっと貴殿にも楽しんでいただけたと思います。

私が日々一番に求めているのは、そういう大発見です。

そして今もそのためにアレやコレやと資料や物件にあたり、場数を踏み続けています。

実は私は飽きてはいませんし、退屈もしていません。

ただ、少し慣れてしまったために、理屈っぽくなっているだけです。

そして、心底スゲーと思える物件に遭遇する日を、今か今かと楽しみに待っています。

皆様を驚かせたい気持ちも、少しも減ってませんよ。めらめら。

これからも、よりご期待に沿えるよう頑張りますので、「面白そうな情報があったら、どんどんぶつけていただきたい！」と思います。

(ヨ)

